

(特集)東海ブロック 多職種合同HIV研修会報告

CARES(エイズ治療開発センター)で行っている研修について

エイズ診療東海ブロック拠点病院の役割として、大きく二つの柱を立てた研修を開催しています。一つ目は、東海ブロック内の保健医療福祉職の方に向けて、HIVという病気を知っていただくことを目的とした研修(基礎編)、二つ目は、東海ブロック内でHIVの患者さんの治療やケア、介護や福祉に携わっている保健医療福祉職の方を対象とし、当院職員と共に患者様を担当しながら行う実務研修(応用編)です。

平成30年6月に開催した研修では、「HIV感染症/エイズ～関わらないのが“常識”のままで良いのか?～」をテーマに基礎編を開催しました。

その中でコーディネーターナースは、「HIV感染症/エイズ診療の現状と課題」を認識していただくことを目的に、HIV看護についての講義を行いました。HIV感染症は、身体だけではなく社会的・経済的・心理的に様々な心配が生じる疾患であるため、身体的なトラブル以外に、精神的な問題、生活をしていく中で困ったこと、性生活の問題など個別相談を要すること、相談内容によっては、より専門的スキルのある職種と連携し、多方面から問題解決に努めていることなど、患者さんが心身ともに健康な状態を維持し、病気と共に生活できるようサポートしている実際を具体的にお話しました。

今後も、HIVに関する医療・保健・福祉に関する知識や最新情報を多職種の方に幅広く提供できるよう研修を企画しております。ご意見、ご質問等ありましたら遠慮なくお尋ね下さい。

